

令和5年度 園内自己評価書

令和6年3月22日

真庭市立月田保育園

園長 山谷 真由美 印

1. 真庭市立月田保育園の教育保育目標

○保育目標

『心豊かで、人と楽しくかかわりながら、主体的にたくましく生活する子どもの育成』

- ・素直で思いやりのある子ども
- ・元気でのびのびと明るい子ども
- ・自分の考えをもち、たくましく創造性のある子ども
- ・最後まで頑張る子ども

2. 本年度の重点目標

○園児が安全にのびのびと遊びに取り組むことができるような環境づくり

- ・子どもの興味や関心のあるものを大切に、子ども主体にそして友達とのかかわりを大切にしながら安心して過ごすことができる環境づくりをする。

○職員の資質向上

- ・一人一人の子ども理解を深め、子どもが安心して過ごすことができるようなかかわりをする。

○小学校や地域との連携

- ・小学校との交流を通して、安心して就学を迎えることができるようにする。
- ・他園との交流を通して、同年齢の子ども同士で集団活動の経験ができるようにする。

○安心安全な給食の提供及び食育活動の実践

- ・栽培活動を通して、食への興味関心を高める。

3. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園総合評価
保育教育課程・指導計画	園の目標や全体的な計画に基づき、指導計画を立て、保育実践に努めることができた。	3
行 事	園、地域共に従来通りの行事に戻ったが、子どもが主体となるよう計画し取り組んだ。	3
組織・運営	職員一人一人の良さや得意を活かし、互いに協力し合って円滑な園運営を行った。	3
学級経営	子ども一人一人の発達を理解し、環境を整えながら子ども達が自己発揮できる場を作るようにしている。	3
特別支援教育	家庭や関係機関との連携を図り、支援を要する子ども理解や対応に努めた。	3
安全管理・保健指導	毎月安全点検・避難訓練・交通指導、年1回不審者訓練・災害訓練を実施し、園児は関係機関からの指導も受け防災意識が高まった。	3
研修（資質向上）	積極的に研修会に参加し、園内でも知識習得のために研修を行い、資質向上に努めた。	3
情報提供・保護者・地域との連携	日々の様子がよく分かるように、毎日クラスボードで様子を伝え、行事の時には写真入りで掲示を行った。地域との連携では、地域ならではの行事に積極的に参加し、かかわりが深まっている。	3
小学校との接続・連携	交流会や保小会議の中で、就学に向けての情報共有ができた。	3
子育て支援	送迎時や懇談での話を保護者の思いに沿って丁寧に聞き、寄り添うようにした。	3
食育の推進（給食）	子ども達が野菜の種や苗を購入し、育て収穫した食材を献立に取り入れることで、食への興味が広がり楽しみに食べる事ができた。	4
食事の提供（調理）	給食調理が衛生的かつ安全に行われるように、食中毒や感染症の予防に努めた。	4

4. その他必要な評価

評価指標	考 察	園総合評価

5. 本年度の重点目標及び総合的な評価結果の考察等

- ・職員は一人一人の子どもの思いをしっかり受け止め、子どもが主体的に「やってみたい」という意欲や「楽しかった」という充実感が味わえるように環境を整えてきた。配慮や援助が必要な子どもについては、具体的な援助について関係機関から助言を受けながら家庭とも連携を図り、職員の共通理解のもと園全体で見守るようにした。
- ・小学校との合同運動会や交流会等を通して、小学校と園との交流を持つことができた。就学前の小学校との接続の視点から、保小会議の中で情報共有ができた。
- ・地域の方との交流は、ほぼ従来通りのかかわりが持て、地域の良さや温かさを感じられる活動体験ができた。
- ・園外の研修に積極的に参加するようにし、新しい情報や他園の保育環境を吸収し、日々の保育に生かせるようにした。園内では毎月研修を行い、学びの共有を図ったり一人一人の子ども理解を深めたり共通理解ができるようにした。
- ・園庭で野菜や椎茸を栽培した。子ども達が野菜の種や苗を選んで購入し、育てて収穫した食材を給食に入れてもらうことで身近に感じ、食への意欲が高まった。調理員も健康状態や調理場の衛生管理に注意をし、異物混入などなく提供できた。

6. 評価結果を受けての具体的改善方策等

- ・保護者アンケートの結果は、全員の保護者から子どもが園生活全体を通して楽しく過ごせていると回答してくださり、今後、小学校に上がっても園での取り組みを活かしていきたいという感想が聞かれた。また、行事等の準備物や予定等もう少し早めに知りたかったという意見に対しては、年間行事予定表と変更の場合は分かり次第知らせ、準備物もできるだけ早く知らせるようにしていきたい。
- ・昨年に続き、今年度も参観日に教育委員会生涯学習課から「家庭教育支援チーム」の方に来ていただき、保護者同士が話し合い交流しながら保護者自身、そして、園と家庭とで子どもの自己肯定感を大切に子育てができるよう研修を行った。保護者の方から、「子どもの良い所をたくさんみつけてあげたい。」「保護者同士色々な話ができて良かった。楽しかった。」「自分自身の苦手な面を褒めてもらえることはあまりないので本当に嬉しかった。」等、感想が聞かれた。今後も、育児に対して少しでも役立てていただけるような研修・講演を行ってきたい。
- ・保護者も園児も安心して就学が迎えられるように、今後も小学校との交流や連絡会などを通してスムーズな接続ができるようにしていく。
- ・資質向上のため、園内研修では保育を振り返りさらに課題を見つけて、いろいろな角度から考えたり学びの共有を図ったりしてチーム力を高め、より良い保育提供ができるよう努めていかななくてはならない。
- ・今後も園での野菜や椎茸の栽培活動を通して食への意欲を高め、安心安全な給食提供に努めていく。

園評価基準

評価	基準	
4	80%以上の達成度	十分達成されている
3	60%以上80%未満の達成度	概ね達成されている
2	40%以上60%未満の達成度	取り組まれているが、成果が十分でない
1	40%未満の達成度	取り組みが不十分である